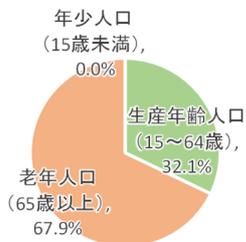


内山 (うちやま)

人口・世帯数等 (令和5年4月)

人口	28人
世帯数	11世帯
高齢化率	67.9%

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立地 集落は、北流して岸田川に注ぐ小又川の西側、標高250mの地点に家屋が散在する。小又川下流の内山出合も当地に属する。小又川の東側にわずかに田畑が開ける以外は山が迫る。

地名由来 「内山」という地名は、山麓傾斜地の代表地名であり、そのような地形(山麓傾斜地)に村があることによると考えられる。(「たじま地名考」日本海新聞)

歴史等 近世の内山村は、天正11年(1583)因幡国鳥取城主宮部氏領、慶長6年(1601)同国若桜藩領、元和3年(1617)幕府領、寛永4年(1627)旗本宮城氏知行、寛永20年(1643)幕府領、寛文8年(1668)豊岡藩領、享保11年(1726)からは幕府領となった。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は48石余。特産物は但馬牛。

明治22年(1889)八田村の大字となり、昭和29年(1954)からは温泉町の大字となる。明治24年(1891)の戸数21、人口は男58・女58。

これまで把握している文化財

文化財の件数 16件 (うち指定等文化財 0件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等		
有形文化財	建造物	建築物	0	2	0	
		石造物	1		0	
		工作物・その他の構造物	1		0	
	美術工芸品	彫刻	3	7	0	
		絵画	0		0	
		工芸品	2		0	
		書跡・典籍	0		0	
無形文化財		古文書・歴史資料・考古資料	2	0	0	
		音楽	0		0	
		演劇	0		0	
		工芸技術	0		0	
		その他の無形文化財	0		0	
		信仰の場	4		4	0
		祭具	0			0
民具	0	0				
その他の有形の民俗文化財	0	0				
民俗文化財	有形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	1	7	0	
		民俗技術	0		0	
	無形の民俗文化財	食文化	0		3	0
		民間説話・俗信	2			0
記念物	遺跡	その他の無形の民俗文化財	0	0	0	
		散布地・集落跡・生産遺跡	0		0	
		古墳・その他の墓	0		0	
		城館跡・寺社跡	0		0	
		街道・古道等	0		0	
		戦争遺跡	0		0	
		その他の遺跡	0		0	
	名勝地	山岳・高原・丘陵	0	0	0	
		海岸・海浜・島嶼	0		0	
		河川・瀧・渓谷・湖沼	0		0	
	動物・植物・地質鉱物	公園・庭園	0	0	0	
		その他の名勝地	0		0	
		動物	0		0	
	植物	0	0	0		
	地質鉱物	0		0		
文化的景観		生活・生業・風土により形成された景観地	0	0		
伝統的建造物群		宿場町・城下町・農漁村等	0	0		



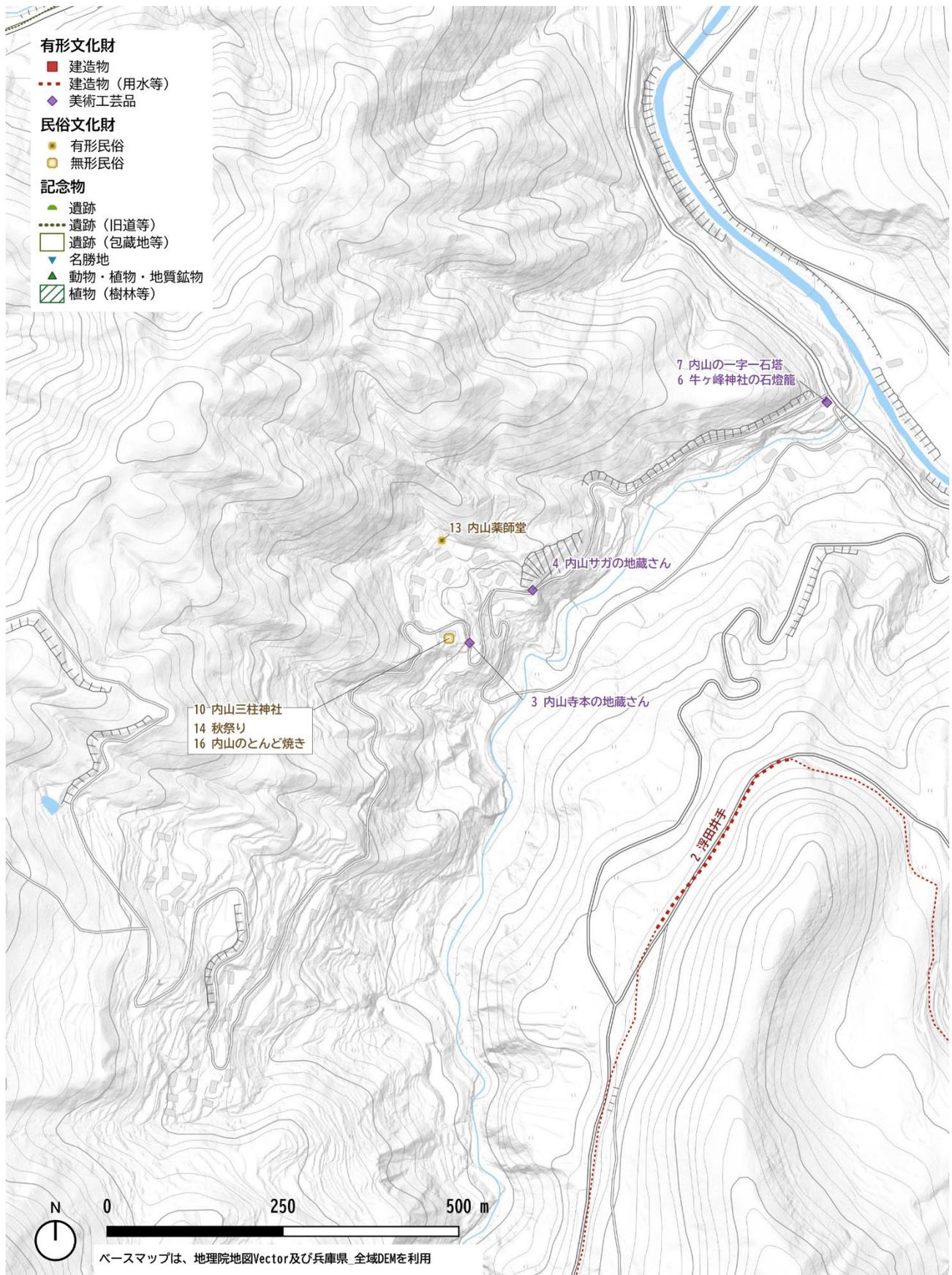
内山の一字一石塔



内山三柱神社

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

6-06 内山

文化財の一覧

■ 有形文化財／建造物

分類	番号	名称	概要
石造物	1	内山の宝篋印塔	110×50cmの石塔。田の縁に石があり、その上に祀られている。外形は整っているが、相輪が紛失している。塔身の月輪（四つの面）にある梵字は風化により字が薄く、判読できない。
工作物・ その他の 構造物	2	浮田井手	海拔270mの中腹段丘にある石橋の水田を灌漑するための岸田川支流小又川からの井手。山ひだに従って屈折しながら伸びる。水路延長は3.6km。浮田井手がかりの園田・杉山の田んぼの開発は、古文書により、1700年代の元禄年間であったことが知られている。

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	3	内山寺本の地藏さん	38×32cmの石像。薬師堂の下方の道路横に石で囲い、安置されている。損傷は見られない。安政2年（1855）建立。碑銘は「村中世話人俵右エ門 庄エ門」「安政二卯七月 石工 千原」。
	4	内山サガの地藏さん	75×53cmの石像。道路の山側に石で囲まれて安置されている。道路改修時に移転したと思われる。手首が少し破損している（セメント補修）。安政2年（1855）建立。碑銘は「村中世話人俵右エ門 庄エ門」「安政二卯七月 千原村 石工 直三郎」。
	5	内山薬師堂の坐像	27×22cmの木像（坐像）。薬師堂の中の大仏の横に小さな厨子があり、格子戸がしめられている。両手首がなく、塗りも顔の落ちがはげしい。年代不明。
工芸品	6	牛ヶ峰神社の石燈籠	法華一字一石塔の脇に立つ。安政3年（1856）建立。表刻字は「奉献 牛ヶ峯蔵王大権現」。願主は内山村岡田儀三良、石工は海上邑平十良。高さ2.1m、横幅1.1m、奥行0.9m。安政3年は因幡側の荒井・鳥越・銀山の3ヶ村が離脱した年で、以降、但馬側の越坂・内山・海上の3ヶ村が氏子となった。
	7	内山の一字一石塔	150×152cmの石碑。出合から内山に上る曲がり角の町道の横に立つ。損傷は見られない。文政11年（1828）建立。裏面の碑銘は「石工浜坂住 菊次郎 文政十一戌天七月吉辰 本願主内山村 中野利平次」。
古文書・ 歴史資料・ 考古資料	8	キリシタン取締りの高札	正徳元年（1711）に出されたキリシタン取締りの高札。個人蔵。
	9	一揆取締りの高札	明和7年（1770）4月に出された一揆取締りの高札。個人蔵。

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	10	内山三柱神社	祭神は素戔鳴命。安永7年（1778）10月の創立。はじめは牛ヶ峰神社の氏子であったが、分離独立して、三柱神社を建てて氏神とした。明治6年（1873）10月に村社となった。
	11	内山須賀神社	近代社格は無格社
	12	内山山ノ神社	近代社格は無格社
	13	内山薬師堂	概要不明

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・ 民俗芸能	14	内山三柱神社秋祭り	9月19日に三柱神社において、氏子中主催で行われる。

分類	番号	名称	概要
民間説話・ 俗信	15	「白い水」の話	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p158参照
	16	内山のとんど焼き	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p143参照